

2022年度技術士 CPD 審査 報告

CPD 審査委員会

技術士 CPD 活動実績は、自己の責任において資質の向上に寄与したと判断できるものを CPD の対象とし、その実施結果を「CPD 時間算定基準」に基づき登録するものである。CPD 審査委員会は、技術士 CPD 活動の内容の質を確保するため、日本技術士会の CPD 登録システム (Pe-CPD) に登録された CPD 記録の定期抽出審査を行い、修正が必要な CPD 記録について、指導内容を審査対象者に個別で通知している。

2022 年度は下表のとおり審査を 3 回行い、それぞれ審査開始の時点で、「対象期間の CPD 時間の合計が多い順」で審査対象者を抽出して実施した。

審査実施回	CPD 記録の審査対象期間	対象者	件数_計
① 2022 年 8 月	4 か月 (2022. 4~2022. 7)	350 名	5, 305 件
② 2022 年 11 月	7 か月 (2022. 4~2022. 10)	285 名	5, 228 件
③ 2023 年 2 月	10 か月 (2022. 4~2023. 1)	215 名	5, 355 件

1. 審査方法

本年度は、技術士 CPD ガイドライン Ver1.1 (2021 年 9 月) の「CPD 活動の資質区分・資質項目、形態区分・形態項目」及び技術士 CPD 管理運営マニュアル Ver1.2 (2022 年 4 月) の「CPD 時間算定基準、注意事項」に準拠し審査を実施した。

審査委員 7 名により、審査対象者の登録データを 1 件毎 (CPD 記録毎) に精査し、修正・改善が必要な CPD 記録については、指導内容のコメントを付けた。

2. 審査対象者の CPD 登録状況

上記 3 回の審査対象者のそれぞれ「審査開始時点」の CPD 記録の登録状況を示す。

(1) CPD 時間

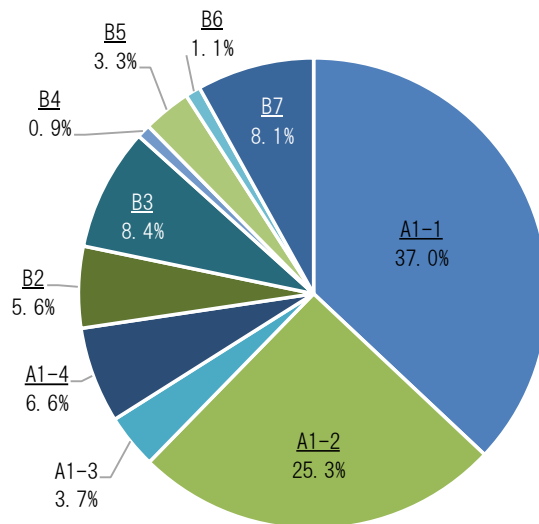
CPD 時間	8月審査	11月審査	2月審査
30未満	2 名 (0.6%)	0 名	0 名
30以上 40未満	163 名 (46.6%)	0 名	0 名
40以上 50未満	86 名 (24.6%)	0 名	0 名
50以上 60未満	48 名 (13.7%)	71 名 (24.9%)	0 名
60以上 70未満	20 名 (5.7%)	83 名 (29.1%)	27 名 (12.6%)
70以上 80未満	11 名 (3.1%)	52 名 (18.2%)	81 名 (37.7%)
80以上 90未満	10 名 (2.9%)	29 名 (10.2%)	37 名 (17.2%)
90以上 100未満	4 名 (1.1%)	13 名 (4.6%)	17 名 (7.9%)
100以上	6 名 (1.7%)	37 名 (13.0%)	53 名 (24.7%)
計	350 名	285 名	215 名

CPD 時間 最小/最大	最小 18	最小 51	最小 68
	最大 219	最大 309	最大 395

(2) 資質項目

審査対象者の登録データ（3回の審査で計15,888件）の、「資質項目別」の登録件数の割合は次のとおりである。「A1-1 技術部門全般」と「A1-2 専門(選択)科目」の登録が大半を占め、その他の資質項目の登録は、10%未満である。

資質区分・資質項目		件数	割合
A 専門的 学識	1-1 技術部門全般	5,879	37.0%
	1-2 専門(選択)科目	4,020	25.3%
	1-3 法令・規格等の制度	593	3.7%
	1-4 社会・自然条件	1,047	6.6%
B 一般共 通資質	2 問題解決	892	5.6%
	3 マネジメント	1,340	8.4%
	4 評価	147	0.9%
	5 コミュニケーション	524	3.3%
	6 リーダーシップ	167	1.1%
	7 技術者倫理	1,279	8.1%



計 15,888

また、審査対象者の個人毎の「総 CPD 時間」のうち、各資質項目の CPD 時間がどの程度の割合を占めているか、下表に示す。例えば、850 名中 92 名（11%）は、総 CPD 時間の 8 割以上を「1-1 技術部門全般」が占めていることを表す。

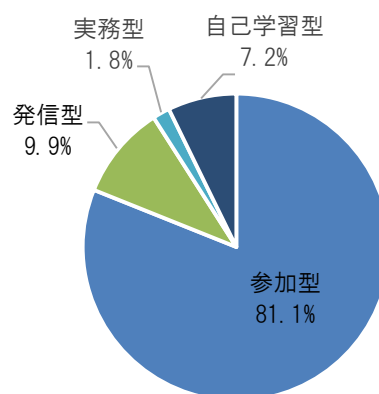
審査対象者 850名 個人毎の CPD時間 での割合 ↓	A1-1 技術 部門 全 般	A1-2 専 門 (選 択) 科 目	A1-3 法 令 ・ 規 格 等 の 制 度	A1-4 社 会 ・ 自 然 条 件	B2 問 題 解 決	B3 マ ネ ジ メ ン ト	B4 評 価	B5 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	B6 リ ー ダ ー シ ッ プ	B7 技 術 者 倫 理
	8割 以上	92 名 11%	75 名 9%	4 名		3 名	3 名			
5割 以上 8割 未満	167 名 20%	135 名 16%	11 名 1%	5 名	8 名	13 名 2%	2 名	1 名	4 名	6 名
1割 以上 5割 未満	432 名 51%	378 名 44%	76 名 9%	134 名 16%	122 名 14%	177 名 21%	23 名 3%	59 名 7%	23 名 3%	112 名 13%
1割 未満	159 名 19%	262 名 31%	759 名 89%	711 名 84%	717 名 84%	657 名 77%	825 名 97%	790 名 93%	823 名 97%	731 名 86%

(3) 形態項目

審査対象者の登録データの、「形態項目別」の登録件数の割合は次のとおりである。参加型 CPD の登録が多く、特に「1 講演・研修」の登録が大半を占めている。

形態区分・形態項目		件数	割合
参加型	1 講演・研修	10,058	63.3%
	2 組織内研修	1,734	10.9%
	3 学協会活動	1,088	6.8%
発信型	4 論文・報告文	275	1.7%
	5 講師・技術指導	1,077	6.8%
	6 図書執筆	100	0.6%
	7 技術協力	119	0.7%
実務型	8 資格取得	61	0.4%
	9 業務成果	228	1.4%
...	10 多様な自己学習	1,148	7.2%

計 15,888



また、審査対象者の個人毎の「総 CPD 時間」のうち、各形態項目の CPD 時間がどの程度の割合を占めているか、下表に示す。例えば、対象者 850 名中 214 名 (25%) は、総 CPD 時間の 8 割以上を「1 講演・研修」が占めていることを表す。

審査対象者 850名 個人毎の CPD時間 での割合 ↓	1 講演 ・ 研修	2 組織 内 研修	3 学協 会 活動	4 論文 ・ 報告 文	5 講師 ・ 技術 指導	6 図書 執筆	7 技術 協力	8 資格 取得	9 業務 成果	10 多様 な自 己学 習
	8割 以上	214名 25%	12名 1%	1名 0%	12名 1%	38名 4%	0名 0%	1名 0%	4名 0%	13名 2%
5割 以上 8割 未満	188名 22%	17名 2%	16名 2%	32名 4%	51名 6%	3名 0%	2名 0%	7名 0%	42名 5%	12名 1%
1割 以上 5割 未満	304名 36%	186名 22%	163名 19%	70名 8%	134名 16%	30名 4%	25名 3%	36名 4%	90名 11%	115名 14%
1割 未満	144名 17%	635名 75%	670名 79%	736名 87%	627名 74%	817名 96%	822名 97%	803名 94%	705名 83%	721名 85%

3. 審査結果

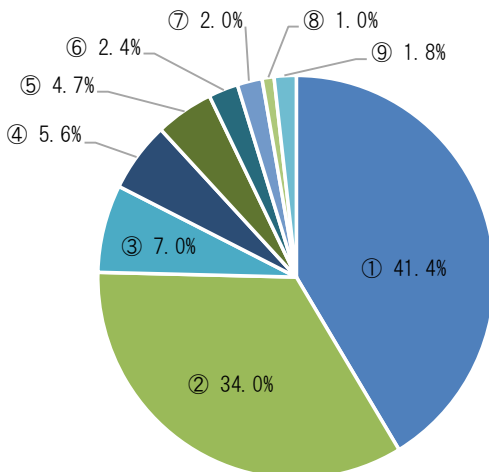
2022年度の審査結果を示す。対象データ計15,888件のうち1,666件【10.5%】について修正・改善が必要であり、対象者計850名のうち423名【49.8%】へ指導内容のコメントを付けて通知した。

審査実施回	CPD記録の審査対象期間	対象者/件数	うち指導内容あり
① 2022年8月	4か月(2022.4~2022.7)	350名 5,305件	128名(36.6%) 315件(5.9%)
② 2022年11月	7か月(2022.4~2022.10)	285名 5,228件	142名(49.8%) 525件(10.0%)
③ 2023年2月	10か月(2022.4~2023.1)	215名 5,355件	153名(71.1%) 826件(15.4%)

①~③ 計 850名 423名(49.8%)
15,888件 1,666件(10.5%)

指導内容(コメント)の分類

指導内容の分類	1 講演・ 研修	2 組織 内研 修	3 学協 会活 動	4 論文 ・報 告文	5 講師 ・技 術指 導	6 図書 執筆	7 技術 協力	8 資格 取得	9 業務 成果	10 多様 な自 己学 習	計
① 実施形態(登録コード)が異なる	285	27	47	36	87	9	21	17	2	158	689 (41.4%)
② CPD内容などの記入不足	325	53	38	39	47	7	1		9	48	567 (34.0%)
③ 実時間を多く計上	96	6	4	2	3					6	117 (7.0%)
④ 同一内容を重複して計上	72	2	3	3	3	1			4	6	94 (5.6%)
⑤ CPD計上できない内容	9	4	4	7	47	3		1		4	79 (4.7%)
⑥ 2つの形態項目に分けて計上する必要がある	27		1	7	5						40 (2.4%)
⑦ 年度の途中で年間活動をまとめて計上			31				3				34 (2.0%)
⑧ 事務的案内などの不要な記述がある	15	1									16 (1.0%)
⑨ その他	6	4	7	2			3	1	2	5	30 (1.8%)
	計 835	97	135	96	192	20	28	19	17	227	1,666



指導内容を分類すると上表のとおりである。なお、「その他」の指導内容には「数か月にわたる社内研修を一括計上」や「連名の論文を貢献度に応じ配分せずに計上」、「CPD内容と資質項目の不一致」などが含まれる。

4. 総評

2022 年度より技術士 CPD 管理運営マニュアルの CPD 時間算定基準及び同注意事項に基づき登録することになったが、新しい基準が十分に周知されていないためか、旧ガイドラインに基づく登録も一部みられた。間違った登録をなくしていくために、新しい CPD 時間算定基準の周知を徹底するとともに注意事項を一部見直していく必要がある。

また、CPD センターには、特に下記の点について CPD 登録システムの修正等をお願いしたい。

- ① 「実施形態（登録コード）が異なる」は、受講確認のできないオンデマンド講座等の受講が多く、講演・研修の登録には参加票（受講証）が必要であることを明確にし、CPD 登録画面に参加票（受講証）の有無のチェック欄を新設する。
- ② 「CPD 内容などの記入不足」は、当会の CPD 行事申込みシステムに記載された「行事の内容」を CPD 登録システムの「CPD の内容」欄に転記する場合の不備がみられる。これは、CPD 行事申込みシステムで主催者が記載する「行事の内容」欄の字数設定が 200 字と少なく、内容を十分に記載できないことに起因している。
このため、「行事の内容」欄の字数設定を 500 字に変更し、主催者に「演題、講演者、講演内容の概要」を記載するように依頼する。
※ CPD 登録システムの「CPD の内容」欄は 500 字まで入力可
- ③ 「実時間を多く計上」は、実時間の単純な入力ミスとみられ、間違いをチェックできるように CPD 登録システムを変更する。

以上